



季刊すまいる 249 春号  
 令和 2 年 2 月 21 日発行  
 横浜市西区  
 地域自立支援協議会  
 ホームページ委員会 発行

タイトルさし絵：「仕事処アニミ」メンバー Yukimi さん



### パート7 報告

昨年、12月7日(土)に生活創造空間にし(5F 食堂)で、毎年恒例の「海鮮丼 de クリスマス at 松原商店街パート7」と題して盛大なクリスマスパーティーが行われました。タイトルにパート7とある様に今回で7回目を迎えることになりましたが、当日は参加者の熱気(?)雪を溶かしてしまったのか残念ながら雨模様になってしまいホワイトクリスマスは25日のお楽しみとなりました。今回のニコつぼには30名の方に参加して頂き、おそらく夏、冬を通して過去最高の参加人数ではないかと思えます。それだけ参加して頂いているので盛り上がりがないわけではなく集合時間より早めに来ている方や、待ちきれず「早く始めよう」と言われる方や朝からボルテージは最高潮といった感じでしょうか。商店街への買い出しや会場のセッティングなどの役割分担を行ったのちには、会話・交流などを楽しみながら各自が自由な発想で作る海鮮丼を食べ、食後のデザートを競い合うケーキドラフトに一喜一憂し、クリスマス会は最後まで盛り上がり続けました。過去最高の参加人数という事もありましたが、この大盛り上がりには、今回からニコつぼ実行委員会というものを起ち上げ、今まで一般参加をしていた方やニコつぼの企画などに興味のある方にお声掛けをさせて頂き、実行委員としてニコつぼの企画会議等にも参加をして頂いて、マンネリ気味だったニコつぼの会に新鮮な意見を提案してもらったりして、これまでのニコつぼにスパイスを足してくれて、一味も二味も違う楽しい会になったからではと感じました。この実行委員につきましては今後も、夏のイベント、冬のイベントの行われる際には、募集をする予定でいますので、ぜひ参加してみたいという方はよろしくお願ひ致します。



第7回海鮮丼キング作品「山海鮮丼」

## 自分の障がいを話して思った事

私は2020年2月1日「仕事処アニミ」にて行われました「ヒューマンライブラリー」の講師として参加しました。

「ヒューマンライブラリー」とは障がい者や社会的マイノリティを抱える人に対する偏見を減らし、相互理解を深めることを目的とした試みです。人を本に見立てて読者に貸し出す図書館という意味で、「読者(参加者)」と「本(障がい者やマイノリティを持つ人)と」か一対一で対話を進めていきます。

今回、私の生い立ちや現在に至るまで質疑応答を交え30分程度お話ししました。それを3グループの方に行いました。私が「本」として参加させて頂いた理由は、私自身を障がい者と言うくくりで知られたくなく、私と言う人を知ってほしいと思ったからです。

当日は1つの小さなテーブルに5・6人の方と雑談のような雰囲気でお話ししました。私が皆さんに共通して伝えた事は、「私はパッと見なんでもできると思われがちなのですが、実はできない事がある」という事です。私は身体障がい者で杖歩行はできるのですが、知的障がいもあり道を覚える事が苦手です。

私は出来る限り健常者と同じ環境で過ごしたいです。それには色々な人と絶えず関わりながら過ごしていく事が大切なのだと、今回のヒューマンライブラリーをとおして感じました。

無限夢工房 R.Nさん

## 映画<道草>上映会のお知らせ

『地域共生社会の実現』が叫ばれる昨今。障害福祉分野では地域移行・地域定着の推進や、障害のある方の『親亡き後』への備えの充実が求められています。しかし、特に障害が「重度」とされる方の多くは、その選択肢の少なさから、未だ入所施設やグループホーム、病院、親元といった少ない選択肢の中で暮らしているのが実情です。

この映画は、そうした選択肢の少なさに、一石を投じ得る「ヘルパー付きのひとり暮らし」の様子を記したドキュメンタリー映画です。実際、重度知的障害があり、自傷・他害といった行動障害がある人のヘルパー付きひとり暮らしの様子など、4事例が紹介されます。

『親亡き後』の生活に不安のある方、障害のある方の生活の場について考えたい方、地域共生社会について興味のある方、全く障害福祉を知らない方、どなたでもご参加いただけます。

この機会にぜひ、ご鑑賞ください。

2020年3月14日(土)13:30~16:00

生活創造空間にし5階食堂にて映画上映。

※要事前申込(FAXにて、氏名、連絡先を記入の上045-594-7682まで)

なお、定員に達し次第、受付終了となります。

西区基幹相談支援センター 森 博宣



## 拡大西PEC 「おんがくとあそぼう」報告

拡大西PEC「音楽と遊ぼう」当日の参加者は予想より大勢の40名、障がい種別も様々な方々が参加。(ワクワク!ドキドキ!!)

最初は緊張が強かったりしましたが、ご自分で、パートナーを選んだり少ずつではありますが、今日の過ごし方が伝わったようです。{音楽と遊ぼう}のプログラムがスタートしてからは、和やかな時間を過ごす事が出来たかな~と思います。

今回の企画は、西区生活支援ネットワーク(西ネット)&西PECとのコラボ企画、ネットのメンバーの多くは重度重複障害があり、様々な配慮が必要なので、音楽と遊ぼうと食事のメニューは西ネット、一般参加募集のチラシと当日のパートナースタッフは西PEC実行員メンバーと役割分担しての開催。

親やヘルパーさんとは別の活動、初めて会った人と一緒に過ごす時間は、有意義な時間になりました。一緒に楽しめる音楽&食事会等があり参加された方々が自分の出来る事で人に寄り添い障がいの枠を超えた、とっても暖かな雰囲気が自然と出来あがっていました。

西ネットだけでは、経験できない時間を過ごす事ができました。

今後もそれぞれが無理をせず、今必要なことを提案、企画実行していけたらと思いを強くした一日でした。

文責：西区生活支援ネットワーク深野さん

## 編集後記

ある障害者と横浜市消防音楽隊のイベントがあったが、消防音楽隊もいけれど、とてもいい経験が出来たのだった。それにもっとこんなイベントをやってほしいと思うのだった。

K・T

横浜市西区地域自立支援協議会ホームページ委員会